


【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	育児サークル「アンファン広場」
活動開始年度	平成18年度
活動拠点	茨木市上郡2丁目12-8 (アル・プラザ茨木)
活動範囲	活動拠点を中心とする
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (現在は、茨木市提案公募型公益活動支援補助制度により活動を実施)
組織体制	10 人 子育てサポーター 3人、元教員 2人、元保育士 1人、 親学習リーダー養成講座修了生 4人、社会福祉士 1人、 茨木市立男女共生センター電話相談員 2人 いのちの電話相談員 1人 (重複記載有)
具体的な活動内容	(活動日時) 月2回第2・第4水曜日 午前10～12時 (活動場所) 拠点のアル・プラザ茨木(スーパーマーケット)の2F ショッピングフロア (活動方法) 保育用マットを敷き、育児サロンを設営  (参加対象) 買い物に来ている親子なら誰でも気軽に参加できる (活動目的) さまざまな遊びや情報提供を通して、育児に対する不安解消を図り、子どものかわいさや親になる楽しさを感じながら子育てができる“子育て 親育ち”の支援をする (主たるプログラム) ① 親子で楽しめるもの(リトミック・絵本の読み聞かせ・ベビーマッサージ・クリスマスコンサート等) ② 親自身が楽しめるもの(フラワーアレンジメント・ママヨガ等)

③ 親の育ちに必要なもの(予防歯科・予防接種の話と上手な医者のかかり方・うち遊び外遊び紹介・親学習・簡単なおやつの作り方等)

(特徴)

- ① 地域の子育て情報の提供(子育て広場等の情報・相談機関の情報等)
- ② ワン・ポイントアドバイスを配布(店内で)し、参加を呼び掛ける
- ③ 参加者とスタッフが話をしながら、気軽に参加者の相談にのる
- ④ 年間2～3回助産師によるベビーマッサージ(助産師による)を開催し、新米ママに参加を呼びかけ、次回につなげる
- ⑤ 一人でも気軽に参加できる
- ⑥ 一人で参加している人同士をスタッフがつなげる
- ⑦ 地域の支援機関がつながり“子育てフェスティバル”を開催



ベビーマッサージ



相談・情報



活動場所



絵本の読み聞かせ



子育てフェスティバル

活動を通して感じていること
(成果、課題など)

(成果)

- * 気軽に相談
 - ・ 離婚問題
 - ・ ママ友問題
 - ・ 近隣住人とのトラブル
 - ・ 子育て(言葉の遅れ・吃音・多動等)に関する問題等
- * 地域社会の入口
 - ・ ママ友ができ、一緒に他の支援機関に行くようになる(一人では行きにくい)
 - ・ ママ友との付き合い方を知る
 - ・ 参加することの楽しさを知り、他の支援機関に積極的に行くようになる

* 親としての入口

- ・ ベビーマッサージで初めて参加したママが一年経つと成長している
- ・ お片付け・お金の使い方の講座で家庭の管理を考える

(課題)

* 朝10時から12時の開催なので、本来来てほしい人の出だしは遅く、終了間際に参加する人も多い。午後からも開催できれば、もっと多くの人に来てもらえる。

* 活動資金が不安定

* 全メンバーがボランティアなので、少しでも報償金ができるようにしたい

